

一般社団法人広島県資源循環協会「会報誌」

# ひろしまの風

2025.07 VOL.30

総会

令和7年度第15回「定時総会」  
及び講演会・懇親会

## 行政ニュース

- ◎調べて適切に処分！ 低濃度PCB廃棄物
- ◎安定型最終処分場に搬入できない廃棄物にご注意ください！！
- ◎人工衛星（SAR衛星）による不法投棄等の監視

一般社団法人広島県資源循環協会

見る・読む・知る

## NEWS

## 令和7年度「安全大会」を開催しました

令和7年7月9日(水)13:30より広島県情報プラザ多目的ホールにおいて、会員等81名が参加して令和7年度「安全大会」を開催しました。

大会は、西本副会長(安全衛生委員会委員長)の開会宣言でスタートし、三谷会長による挨拶、広島労働局健康安全課課長補佐 三角昭生様からご祝辞をいただいた後、労働安全衛生表彰、及び「安全標語」入選作の発表と表彰が行われました。表彰受賞者と「安全標語」入選作は、次表のとおりです。受賞又は入選された皆様、誠におめでとうございます。

労働安全衛生表彰は、令和6年度から、労働安全又は労働衛生の向上に尽力し顕著な功績が認められる個人及び事業所を表彰することにより労働安全衛生の推進に資することを目的として、安全衛生優良従事者及び安全衛生優良事業所の表彰を行っているものです。

## 令和7年度「労働安全衛生表彰」受賞者 (敬称略)

## 安全衛生優良従事者

峰松 浩三(株式会社オガワエコノス)

村上 猛(三平興業株式会社)

村上 義雄(株式会社こっこー)

## 安全衛生優良事業所

東広商事株式会社(処分・収集運搬)

## 令和7年度「安全標語」入選作

## 【最優秀賞】(1点)

急ぐな 焦るな 忘れるな 事前準備とこころの準備  
(株)オガワエコノス 横山 友和さん

## 【優秀賞】(2点)

事故招く 急ぐ慌てる 自己判断 チームワークで築くゼロ災害  
開発肥料(株) 今村 智明さん  
危ないぞ 慣れと油断が事故のもと 初心に戻って安全作業  
(株)大前工務店 高田 豪巳さん

## 【佳作】(4点)

小さな「ヒヤリ」を見逃さず みんなの目で摘み取る危険の芽  
丸伸企業(株) 小田 竜司さん  
怠るな 安全管理に健康管理 みんなでつくる 快適職場  
(株)御池鐵工所 河野 良太さん  
確認しよう安全を 責任持とう行動に 獲得しよう安心・安全・明るい未来  
(株)瀬野川総業 小原 一志さん  
まず自分! 次は仲間でもう一度! ダブルチェックで防ぐ事故  
泉産業(株) 重永 幸二さん

表彰式の後、ご祝辞をいただいた三角様から、「労働安全衛生の徹底について」と題して、ご講演を賜りました。講義では、熱中症による労働災害について、令和7年6月1日施行の改正労働安全衛生規則を踏まえた対応について、詳しくご説明いただきました。熱中症のおそれのある者を発見した際には、状況に応じて作業から離脱させ、作業着を脱がせ水をかけるなどの初期対応が必要となること、また、経過観察中や医療機関までの搬送中は決して一人にしないことなどを学ばせていただきました。加えて、化学物質の管理についても、化学防護手袋の選定方法など、具体的なお説明をいただきました。

続いて、丸本鋼材株式会社の石岡史巨様から「安全への取り組みについて」と題して、事例発表をしていただきました。①毎日の朝礼での確認ポイントの共有、②週1回の役員による現場パトロール、③月1件以上のヒヤリハット事例の報告など、社内での安全への取り組みについてご説明いただきました。

最後に、石岡安全衛生委員の先導により、全員で安全宣言を唱和し、小島安全衛生委員が閉会を宣して3時間に近い大会を無事終了しました。

ご祝辞、ご講演、事例発表いただいた皆様、この度はありがとうございました。ご参加いただいた皆様、運営にご協力いただいた関係者の皆様にも、改めて感謝申し上げます。



労働安全衛生表彰



安全標語入選作品表彰

## 安全宣言

一般社団法人広島県資源循環協会の会員一同は、エッセンシャルワーカーとして、日々排出される産業廃棄物の適正処理及び資源循環の事業や業務を通じて、地域産業の発展と安全・安心な地域づくりに貢献しています。

そうした中、産業廃棄物処理業全体における労働災害による死亡者数及び休業4日以上の死傷災害は、近年、増加傾向にあります。また、健康をめぐる状況は、仕事や生活に関する強い不安や悩み、ストレスを感じている労働者も多くおられます。労働災害のない安心して働ける職場環境の実現は、働く者すべての願いであり、企業の社会的使命でもあります。

当協会は、協会と会員が一体となった各種の取組を一層進めるため、令和5年7月に第3次「労働災害防止計画」を策定しました。この計画では、令和9年における死亡災害を「ゼロ」にする、休業4日以上の死傷災害を34人以下にする、という目標を設定し、その達成に向けて取組を進めてまいります。

具体的には、①会員企業経営者の強いリーダーシップの下、経営者トップによる所信表明を行う。②安全衛生規程を作成している会員企業数を増加させる。③当業界において発生数の多い墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ、転倒の件数を減少させる。ことを重点実施事項として推進してまいります。

本日の大会は、関係者の参集の下、最新の取組や情報を共有し、学び、交流する場であります。

労働災害は、当事者だけでなく、その家族にも影響を与える深刻な問題であり、企業の運営にも重大な支障を及ぼす社会的損失です。

### 【一同唱和】

我々会員一同は、こうした共通認識の下、それぞれ自覚と責任を持って、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たにするとともに、日々の業務の中で安全衛生活動の充実と安全衛生意識の醸成に取り組んでいくことを、ここに宣言いたします。

令和7年7月9日

一般社団法人 広島県資源循環協会



事例発表



安全宣言唱和



閉会挨拶